

学校 教育 目標	多くの人との関わりの中で【公・開】				
	<ul style="list-style-type: none"> ●自他の生命を尊び、互いに思いやる豊かな人間性を育みます【徳・体】 ●進んで課題を発見し、ねばり強く解決していく力を育みます【知・徳】 ●自ら学力の向上に努め、自立的に学び続ける力を育みます【知】 				
学校 概要	創立 74 周年	学校長	副校長	3 学期制	一般学級： 個別支援学級：
	児童生徒数：	人	主な関係校： 蒔田小学校、南太田小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
		<p>○目標を見つけ学び続ける子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じたキャリア教育を通じ、先の見通しをもって自己実現を目指す子どもを育てる。 ・「できる」「わかる」体験を通して、自信をもち、自他を高める子どもを育てる。 ・まちや人との関わりを通じ、社会とつながり、地域を愛する子どもを育てる。
<自分づくりに関する力>		

中期 取組 目標	○全職員で生徒の健全育成に向けて、活力と魅力のある学校作りを目指します。
	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の定着を図るために、指導力の向上を図り「生きる力」を育む教育活動を推進します。 ○他者との違いを認め、互いを大切にする温もりのある集団づくりに努めます。 ○地域社会の中で自分を見つめられるような体験学習をすすめます。

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①全教科で年1回は校内授業研や小中一貫教育推進ブロック授業研において研究授業を行う。 ②「主体的に高め合う、学び合いの授業づくり」をテーマとして年間を通して授業研究に取り組む。 ③新学習指導要領の全面实施に向けた研修会を全体で年1回、各教科等で1回以上行う。 ④横浜市学力・学習状況調査、全国学力学習状況調査の結果を積極的に公表、活用する。
担当 学習指導部	
豊かな心	①道徳の時間を中心として、すべての教育活動を通して道徳教育の充実を図る。 ②校内で気持ちのよいあいさつができるよう、生徒会によるあいさつ運動等を活性化させる。 ③「学び合い」を通して、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を育む。
担当 学習指導部	
健やかな体	①健康の保持増進を図ることを目的とした学校保健委員会に取り組み、全校生徒には啓発活動として、ビデオ制作等したものをさせる。②心身の健康の向上や熱中症、感染症予防、生活習慣の改善等に対して、掲示物やお昼の放送による啓発を行う。③健康診断等を通して、自分の発育、発達や健康状態に対する理解と自覚を促す。また、自発的な健康生活を実践する習慣や態度を養い、関心が高めるためのアンケートを実施する。④健康な体についての理解や意識向上のために、たばこの害や薬物乱用防止、性教育等の講演会を行う。⑤体力・運動能力調査の結果を積極的に公表、活用する。
担当 保健指導部	
自分づくり教育	①学級活動・生徒会活動・学校行事において、生徒が自分の役割を見つけ、最後までやり抜く力をはぐくむことを目指す。②活動ごとに生徒アンケートを行い、ねらいの達成度や改善点などについて振り返り、より良い活動の実施に繋げる。
担当 特活指導部	
防災教育	①防災への関心や地域の一員として、自ら救助活動に取り組む意識を高めるために、総合学習の一環として、防災講演会を1年次に行う。また、校外学習(自然教室・遠足・修学旅行)の中でも防災学習を行い、内容についても学年で引き継ぎながら高められるよう工夫する。②災害時において、安全確保及び避難の指示に従い、迅速に行動できる態度を身につけられるように、実際の場面を想定した防災訓練(年4回)や引き取り訓練(年1回)を行う。
担当 保健指導部	
教育環境整備	①毎月安全点検を行い、学校施設・設備の安全、維持管理に取り組む。②教室等に必要な備品や授業等で活用する教材教具を計画的に整備し、適切に管理する。③防火シャッター点検や消防設備点検により報告された事項を改善し、生徒が安全に学校生活を送ることができるように環境を整備する。
担当 事務部	
地域連携・ 学校運営協議会	①今年度設置された学校運営協議会の基盤をしっかりとつくりついでいく。その中で、地域連携の具体的な取組を設定する。 ②地域行事への生徒の参加体制について検討し、自分の住んでいる地域の行事への参加生徒の増加をめざす。 ③学校Webページを毎月1回は更新し、生徒と保護者が学校での出来事について話す話題を提供する。
担当 教育課程検討改善委員会	
特別支援教育	①特別支援の視点でより分かりやすい授業、教室にするためにユニバーサルデザインなど、特別支援に関わる研修を職員会議と合わせて行う。 ②登校支援を学年での対応に加え、他学年の職員も対応できるようにする。③個別の支援計画を学校全体で共有する。
担当 特別支援教育推進委員会	
いじめへの対応	①いじめの未然防止として、生徒の特性を理解するためにYPアセスメントシートを年2回以上活用する。 ②教職員への研修を年1回行い、子どもの社会的スキル横浜プログラムについて全職員で理解を深める。 ③いじめ対策委員会を定期的に関き、進展状況の確認や対応方針をすすめる。 ④年間3回以上のいじめアンケート及び生活アンケートを実施し、教育相談を行う。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①メンターチーム研修導入を検討し、経験の浅い職員をフォローする体制をつくる。同時に、負担増にならないように会議の効率化も進めていく。②職員反省を年間2回に増やし、PDCAサイクルを早めることで、効果的な組織運営と速やかな課題改善を目指す。③校長・副校長と教職員との面談を通して、教職員一人ひとりが働き方やキャリア展望に向けて適切に目標を設定し、振り返りを行い、業務改善に取り組めるようにする。
担当 教務部	